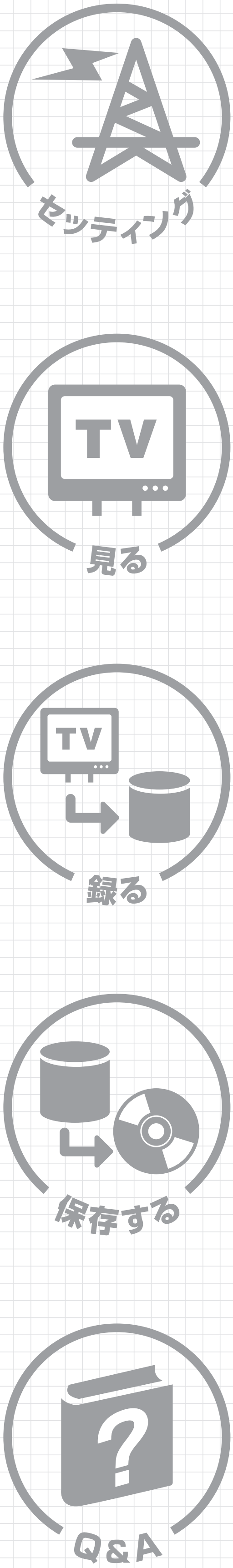
B6FJ-5201-01



テレビ操作ガイド

「テレビ機能」を詳しく紹介

このマニュアルを読む前に

受信環境の確認

地デジを受信できる環境であるか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

スタート
現在、テレビはケーブルテレビで見ていますか？

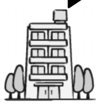
→ 見ている

ケーブルテレビの電波の伝送方式を確認してください。
ケーブルテレビで地上デジタル放送を見る場合は、伝送方式が「**同一周波数パススルー方式**」または「**周波数変換パススルー方式**」である必要があります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

↓ 見ていない

お住まいの住宅の種類は？

→ アパート、マンションなどの共同住宅



現在の環境で地上デジタル放送を受信できるか確認してください。
共同アンテナの種類や向きなどが、地上デジタル放送に対応しているか、大家さん、管理組合、管理会社などにご確認ください。

↓ 一戸建て



UHF放送（13～62チャンネル）を受信できていますか？

→ できている

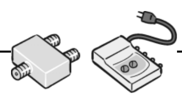


一般的には地上デジタル放送を見られます。ただし、お使いの環境によっては、新たにUHFアンテナが必要になる場合や、アンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

↓ できていない

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
・ブースター／アッテネーター／分配器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。



地上デジタル放送を見るためには

付属品を確認する	『箱の中身を確認してください』
↓	
リモコンの準備をする	『取扱説明書』
↓	
アンテナ線を接続する	『取扱説明書』
↓	
B-CASカードを挿入する	『取扱説明書』
↓	
初回設定を行う	「1.1　テレビを見るための準備をする」の「STEP3.　「DigitalTVbox」の初回設定をする」
↓	
見る	「1.3　テレビを見る」

見ることができないときは？
「4.1　画面がおかしい」の「地上デジタル放送が映らない」

■問合せ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570-07-0101（IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111）
受付時間：平日…9時から21時　　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「Dpa／ディーピーエー」）の
ホームページも見てみよう！

Dpa
社団法人デジタル放送推進協会
The Association for Promotion of Digital Broadcasting

http://www.dpa.or.jp/

デジタル放送に関する情報をご覧になれます。

・地デジとは？
・自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
・未対応地域の放送開始予定など
・BS・110度CSデジタル放送について

（2010年8月現在）

目次

このマニュアルの表記について

●画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

●本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
Web	Webで公開している『補足情報』を表しています。 『補足情報』は次の手順で表示します。 1. インターネットに接続した状態で、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「@メニュー」▶「@メニュー」の順にクリックします。 2.「@メニュー」の「安心・サポート」から「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

●製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Professional正規版	Windows
Windows® 7 Home Premium正規版	Windows
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Corel® Digital Studio™	Corel Digital Studio
Corel® Direct DiscRecorder™	Corel Direct DiscRecorder
Corel® WinDVD®	WinDVD
PSP®	PSP
Fujitsu PowerDVD9 3D Player	PowerDVD

●操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンを使った操作を中心に説明しています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。また、一部マウスでの操作が必要な項目については、その旨を記載しています。

リモコンでの操作	マウスでの操作
‹ ˆ ˇ ›で「確定」を選択し、【決定】を押します	「確定」をクリックします

- 本文中の操作手順において、連続する操作手順は「▶」でつなげて記述しています。

例）（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

…（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」の順にクリックします。

- LIFEBOOKをお使いの場合、このマニュアルで「マウスで操作する」とある箇所は、フラットポイントでも操作できます。
- LIFEBOOK NHシリーズをお使いの場合、「タッチスクエア」をリモコンとして使用できます。詳しくはWeb『補足情報』の「タッチスクエア」をご覧ください。

●商標および著作権について

Microsoft、Windows、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国および/またはその関連会社の商標です。
Corel、Corelのロゴ、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
AVCRECは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
「ウォークマン」、「WALKMAN」、「Memory Stick」、「メモリースティック」、「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック PRO デュオ」、「メモリースティック PRO-HG デュオ」、「メモリースティック マイクロ」、「マジックゲート」および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
SDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
プレイステーション、PSP、プレイステーション・ポータブルは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標および商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

安全上のご注意

●このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報です

本製品でテレビ、DVD、Blu-ray Disc、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続したりしてご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激や点滅の繰り返しを受けることによって一時的な筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

お使いになるうえでのご注意

●大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

●ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

●停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画データが損なわれたりすることがあります。大切な録画データは、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やディスクへの保存中に停電などが起こると、録画や保存に失敗したり、ハードディスクから録画データの一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画データの一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

●著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

●本製品における**MPEG-4**ライセンスについて

本製品は、MPEG-4ビジュアル規格特許ライセンスを管理するMPEG LA LLCから弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4ビジュアル規格に準拠した態様で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。

●**LIFEBOOK**をお使いになるときのご注意

本製品でテレビ機能を使用するときは、パソコン本体にACアダプタを接続してください。

第1章　テレビを見る

本章では、テレビを見る前にあらかじめ必要となる準備、注意事項、リモコンの操作方法、番組表の見方などについて説明します。

1.1　テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。ここでは、テレビを見るための準備について説明します。

■ デジタル放送について

デジタル放送には、地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送があります。
BSデジタル放送、110度CS放送を見るためには、事前に放送事業者と受信契約をする必要があります。すでに契約をしている場合は、新たに契約をする必要はありません。また、個人でアンテナを設置している場合は、アンテナに電源を供給する必要があります。詳しくは、「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧ください。

■ 地上デジタル放送を見るための準備

地上デジタル放送を見るためには次の準備が必要です。

STEP1.　お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年8月現在）で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であるか確認することができます。

STEP2.　アンテナケーブルを接続し、B-CASカードをセットする

『取扱説明書』をご覧になり、アンテナケーブルの接続とB-CASカードのセットを行ってください。

B-CASカードについて

- このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B -CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B -CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）社との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。

- B -CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CAS社カスタマーセンターまでお問い合わせください。
  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）　カスタマーセンター
  電話番号：0570-000-250［IP電話の場合045-680-2868］
  受付時間：10：00～20：00

STEP3.　「DigitalTVbox」の初回設定をする

「DigitalTVbox」の初回設定は、マウスを使って行います。

1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「**PIXELA**」▶「**DigitalTVbox**」▶「**DigitalTVbox**」の順にクリックします。

「ソフトウェア使用許諾書」の画面が表示されます。

2. 内容を確認し、「はい」をクリックします。

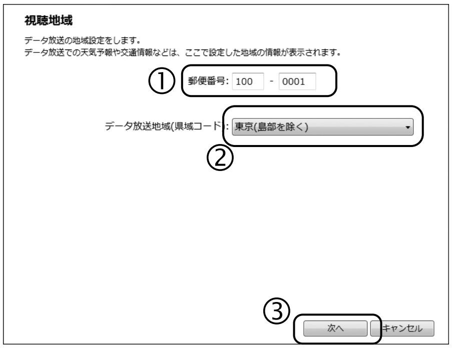
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

3. お住まいの地域の郵便番号などを設定します。

① 郵便番号を入力します。

②「データ放送地域（県域コード）」から、お住まいの地域を選びます。

③「次へ」をクリックします。



4. 「チューナー／アンテナ」画面でアンテナ電源の「**ON**」または「**OFF**」を選択し、「次へ」をクリックします。

アンテナ電源について、詳しくは「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧ください。

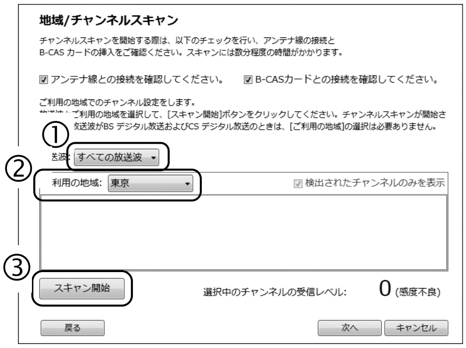
5. 「地域／チャンネルスキャン」画面で、「アンテナ線との接続を確認してください。」と「**B-CAS**カードとの接続を確認してください。」の☐をクリックして☑にします。

6. 利用する放送波と地域を選択します。

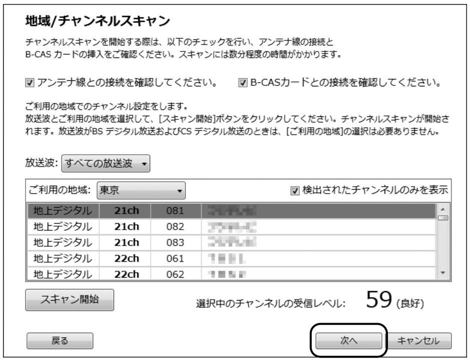
① 利用する放送波を選択します。

② 利用する地域を選択します。
BS・110度CSデジタル放送だけを設定する場合は、地域を選択する必要はありません。

③「スキャン開始」をクリックすると、スキャンが開始されます。



7. スキャンが完了したら、「次へ」をクリックします。



8. 「保存先ドライブ」画面で、テレビ番組を録画したときにデータを保存するドライブを指定します。

① 「保存先ドライブ設定」のリストから、録画番組のデータを保存するドライブを選び、 をクリックして にします。
ここで複数のドライブを選んでおくと、ひとつのドライブの空き容量が不足してしまったときにも、別のドライブにデータを保存して録画することができます。

② 「最初に使用する保存先ドライブ」を選びます。録画番組のデータは、ここで選んだドライブに優先的に保存されます。
通常は、「D: ¥STVLERec¥」を選択してお使いください。

③ 「次へ」をクリックします。



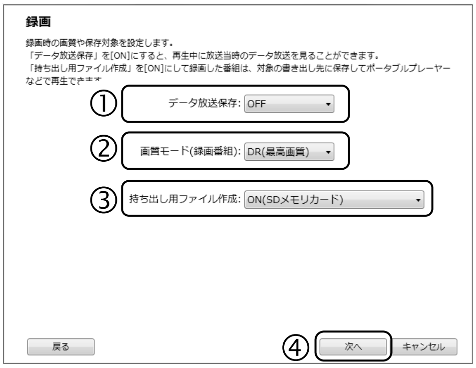
9. 「録画」画面で、「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「持ち出し用ファイル作成」を指定します。

① データ放送を録画するとき、データ放送のデータを保存するかを指定します。

② 「画質モード（録画番組）」で番組を録画するときの画質を指定します。

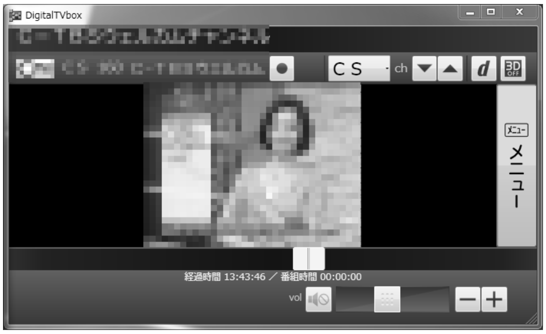
③ 録画番組をSDメモリーカード、メモリースティック、PSPまたはウォークマンに書き出す場合、書き出したい外部記憶媒体を指定します。

④ 「次へ」をクリックします。



10. 「完了」画面が表示されたら、「**OK**」をクリックします。

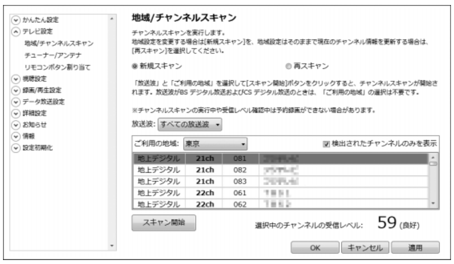
11. テレビの視聴画面が起動します。



画面上でマウスをクリックすると、操作パネルが表示されます。
これで初回設定は完了です。

Point 受信レベルの確認

「DigitalTVbox」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認することができます。
「メニュー」▶「設定」の順にクリックすると、「DigitalTVbox[設定画面]」が表示されます。
「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順にクリックし、放送局を選択すると、受信レベルが表示されます。
受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていればアンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。



受信レベルが低い場合は、【メニュー】を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」▶「アッテネータ設定」の設定を変更することで、改善されることがあります。

1.2 テレビを見るときの注意

ここでは、このパソコンのテレビ機能をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

■ 電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合は、【メニュー】を押して表示されるメニューから、「設定」▶「テレビ設定」▶「チューナー／アンテナ」▶「アッテネータ設定」の設定を変更することで、改善されることがあります。それでも改善できないときは、ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

■ テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

- 「DigitalTVbox」は、他のソフトウェアと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。「DigitalTVbox」をお使いのときに、「Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）」や「WinDVD」など他のソフトウェアやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- シャットダウンや再起動をする場合や、スリープや休止状態にする場合は、リモコンの【終了】を押して「DigitalTVbox」を終了してください。画面右下の通知領域にある をクリックすると、表示される「DigitalTVbox」アイコン（ ）がグレーになります。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、次の場合に2チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。
  - ・ パソコン本体のスピーカーから出力する場合
  - ・ LIFEBOOKとデジタルテレビをHDMIケーブルで接続し、デジタルテレビのスピーカーから出力する場合
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。
  （スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックすると、電源プランを設定するウィンドウが表示されます。ここの設定を「バランス」または「高パフォーマンス」にしてください。
  上記以外の設定の場合、映像がコマ落ちすることがあります。

■ その他の注意

- 「DigitalTVbox」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューの「画面の解像度」をクリックして、設定し直してください。
  ご購入時の設定については、『取扱説明書』の「仕様一覧」を確認してください。
- 定期的にデフラグを実行してください。ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクへの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。

1.3　テレビを見る

ここでは、テレビの起動／終了方法と、テレビの基本的な操作を説明します。
「リモコンでの操作」と「マウスでの操作」があります。

1.3.1　リモコンで操作する

■ リモコンでテレビを起動する

【テレビ】を押してリモコンでテレビを起動すると、テレビが全画面表示されます。
ウィンドウ表示にしたい場合は、【メニュー】を押して表示されるメニューから、「表示切換」▶「マウス優先表示」の順に選択して【決定】を押します。ウィンドウ表示にしているときの操作はマウスで行ってください。

■ テレビを終了する

リモコンで終了した場合や、メニューの （待機モードへ）をクリックした場合は、待機モードになります。テレビを完全に終了するには、画面右下の通知領域にある をクリックし、 を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックします。ただし、完全に終了すると、予約録画が実行されませんのでご注意ください。

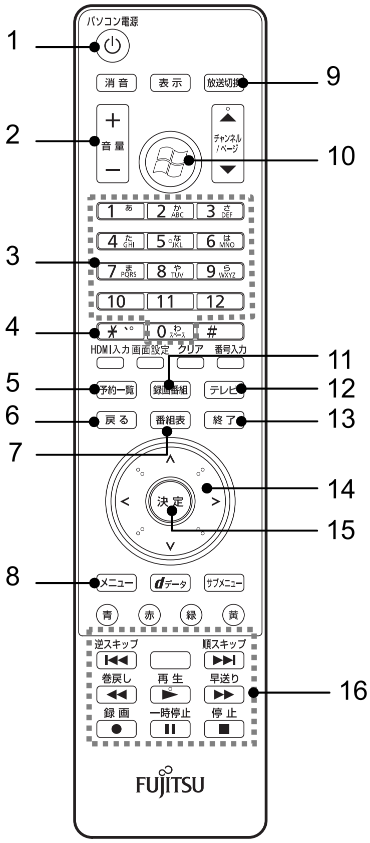
■ チャンネルを切り替える

チャンネルは、数字ボタンを押すか、「▲」または「▼」を押して切り替えます。
3桁のチャンネル番号を入力する場合は、【番組入力】を押した後、数字ボタンで3桁の番号を入力します。

■ 録画中に別の番組を視聴する（ダブル録画対応機種のみ）

録画を行っていても、録画している番組とは別の番組を視聴できます。ただし、ダブル録画を行っているときは、別の番組を視聴できません。なお、ダブル録画中で録画している番組の切り替えは、リモコンの「▲」または「▼」で行えます。

■ リモコン



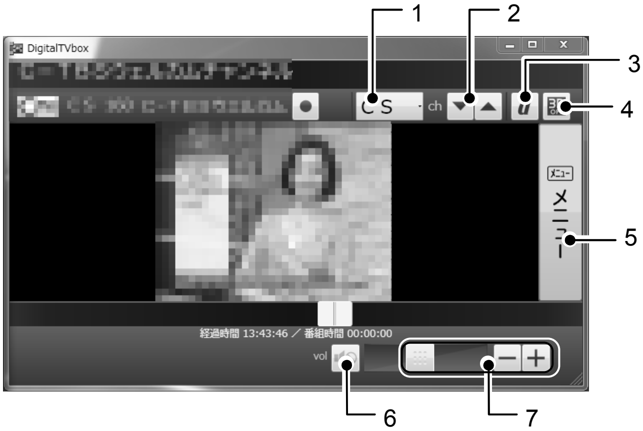
（イラストは機種により異なります）

1　パソコン電源ボタン パソコンの電源を切る、またはスリープ状態にします。	9　放送切換ボタン 放送波を切り換えます。
2　音量ボタン 音量を調整します。	10　Media Centerボタン 「Windows Media Center」を起動します。
3　数字ボタン チャンネルを切り換えます。	11　録画番組ボタン 録画された番組の一覧を表示します。
4　＊ボタン （3D対応ディスプレイ搭載機種のみ） 3D番組を視聴するときに押します。 3D番組以外を視聴しているときにこのボタンを押すと、テレビ画面が乱れる場合があります。 詳しくは、『3D機能をお使いになる方へ』をご覧ください。	12　テレビボタン 「DigitalTVbox」を起動します。
5　予約一覧ボタン 予約している番組の一覧を表示します。	13　終了ボタン 「DigitalTVbox」を終了します。
6　戻るボタン メニューや番組表を表示しているときにひとつ前の画面に戻ります。	14　‹⌃⌄›ボタン 番組表の番組やメニューを選択します。
7　番組表ボタン 番組表を表示します。	15　決定ボタン 番組表を表示しているときは、番組の詳細情報を表示します。 メニューを表示しているときは、メニュー項目やボタンを選択します。
8　メニューボタン メニューを表示します。	16　操作ボタン 録画したテレビ番組を視聴するときは、再生や一時停止などをします。 番組表を表示しているときは、前日や翌日の番組表を表示します。

1.3.2　マウスで操作する

マウスを使ってテレビを起動するときは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox」の順にクリックします。テレビの視聴中にテレビ画面をクリックすると、操作パネルが表示されます。

■ 操作パネルの使い方



1	放送波を切り替えます。	5	メニューを表示します。
2	チャンネルを切り替えます。	6	をクリックしてにすると、ミュートになります。 もう一度クリックすると元の音量に戻ります。
3	データ放送を表示します。	7	を左右に動かす、または－　＋をクリックして、音量を調整します。
4	3D番組を視聴するときにクリックします。（3D対応ディスプレイ搭載機種のみ） 3D番組以外を視聴しているときにこのボタンをクリックすると、テレビ画面が乱れる場合があります。 詳しくは、『3D機能をお使いになる方へ』をご覧ください。		

1.3.3　字幕や音声などの設定を変更する（メニュー）

メニューを使うと、簡単に字幕や音声の切り替えなどを行うことができます。

1. テレビ画面が表示されている状態で、【メニュー】を押します。



2. ‹↕›で設定したい項目を選択、設定の変更を行います。
3. もう一度、【メニュー】を押すと、メニューが終了します。

   マウスを使って操作する場合は、テレビの画面上で右クリックすると、メニューが表示されます。

1.4　番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。

番組表を使うと、次のことができます。

- 番組表を見る
- 番組を探す
- 番組表で録画予約する（詳しくは、「2.2　テレビ番組を録画する」の「番組表で予約録画する」をご覧ください。）

■ 番組表の操作

リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
番組表を表示する	[番組表]
番組表を閉じる	[戻る]
選択している番組の詳細情報を見る	[決定]
前日の番組表を表示する	逆スキップ [⏮]
翌日の番組表を表示する	順スキップ [⏭]
番組を予約録画する	録画 [●]

■ 番組を探す

「ジャンル」や「出演者」などのキーワードから、見たい番組を探すことができます。

1. 番組表を起動した状態で、【メニュー】を押し、「番組検索」を選択し、【決定】を押します。



2. 【赤】を押し、‹↕›で何をキーに検索するかを選択し、【決定】を押します。

3. ‹↕›で番組を選びます。

4. 予約を行う場合は、予約したい番組を選択し、【黄】を押し、表示された「詳細」画面で、【録画】を押します。予約について詳しくは、「**2.2**　テレビ番組を録画する」の「番組表で予約録画する」をご覧ください。

重要　番組表を使うときの注意

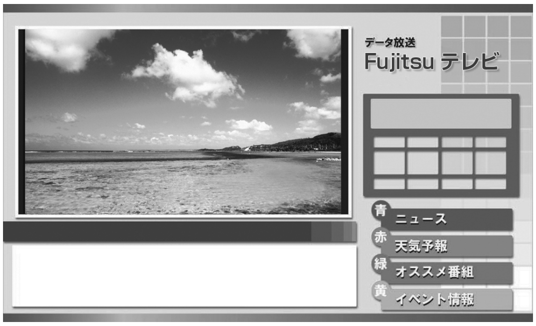
- 番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。また、受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。
- 番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。

1.5　データ放送を見る

「データ放送」とは、番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどの回線を利用して、クイズに答えるなど、番組に参加することができます。

■ データ放送の見かた

1. テレビ画面が表示されている状態で、【**d**データ】を押します。



2. ←↑↓→、【決定】、【青】、【赤】、【緑】、【黄】などのボタンで操作します。

データ放送の画面では、マウスでの操作はできません。

3. もう一度【**d**データ】を押すと、データ放送が終了します。

重要　データ放送を見るときの注意

- 録画番組にデータ放送のデータを保存する場合は、録画設定で「データ放送保存」を「ON」と設定します。
- 双方向サービスの利用には、有線LANによるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
- 双方向サービスは、インターネット接続を利用してデータの送受信を行う形式が中心ですが、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送の一部の番組では、電話回線を使った双方向サービスが提供されています。電話回線を使った双方向サービスはご利用になれませんのでご注意ください。
- 双方向サービスを利用する場合は、「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について

BS・110度CSデジタル放送用アンテナに供給する電源を、「アンテナ電源」といいます。電源がアンテナに供給されないと、BS・110度CSデジタル放送の映像が表示されません。
アンテナ電源の供給方法は、お住まいの種類やご使用のパソコンにより異なります。

■ アパート・マンションなどの共同住宅の場合

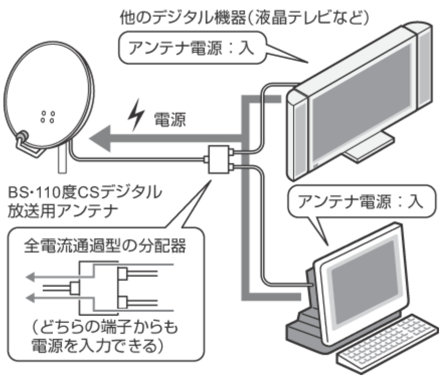
共同アンテナが設置されている場合は、各家庭からの電源供給は不要です。

■ 一戸建て住宅の場合

ESPRIMO

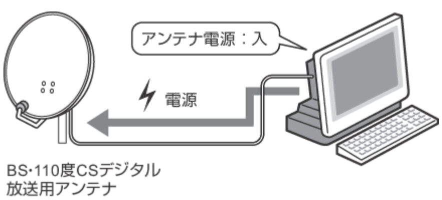
アンテナを共有している

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有している場合は、パソコンとデジタル機器の両方から電源を供給します。
「DigitalTVbox」の「アンテナ電源」を「ON」に設定すると、デジタル機器からもアンテナへ電源を供給します。全電流通過型の分配器が必要になる場合があります。



アンテナを共有していない

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有していない場合は、パソコンから電源を供給します。
【メニュー】を押して表示されるメニューから、「設定」▶「チューナー／アンテナ設定」の順にクリックし「アンテナ電源（LNB電源）設定」の設定を「ON」に変更してください。

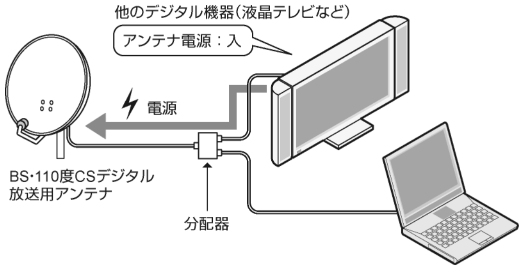


LIFEBOOK

LIFEBOOKでは、アンテナに電源を供給できません。

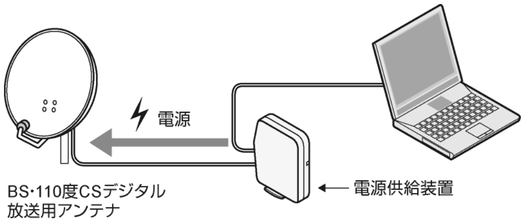
アンテナを共有している

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有している場合は、アンテナ電源を供給可能なデジタル機器から電源を供給します。



アンテナを共有していない

アンテナ電源を供給可能なデジタル機器とアンテナを共有していない場合は、外付けの電源供給装置から電源を供給します。



第2章　テレビ番組を録画する

本章では、見ているテレビ番組を録画したり、予約録画する方法について説明します。

2.1　テレビ番組を録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときに注意していただきたいことを説明します。

■ 録画全般について

本体にACアダプタを接続してください

- LIFEBOOKをお使いの場合、パソコン本体にACアダプタを接続してください。
  バッテリ残量が一定量以下になると、パソコン本体が自動的に休止状態になるため、録画が失敗したり予約録画が中断されたりする原因となります。

シャットダウン、再起動、スリープや休止状態に関する注意

- 録画中は、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。録画が失敗する原因となります。
  ご購入時の設定では、予約録画終了後にスリープや休止状態になる、または電源が切れます。
- 予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。変更すると、予約録画に失敗することがあります。
  ご購入時の設定から変更している場合は、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックし、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの規定の設定を復元」をクリックしてください。

ウイルススキャンに関する注意

- 録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
  テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。詳しくは、『取扱説明書』の「セキュリティ対策ソフトの準備をする」をご覧ください。

電源ボタンに関する注意

- 録画中は、パソコンの電源ボタンを押さないでください。
  録画が中断されます。また、故障の原因となる場合があります。
  また、電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画に失敗することがあります。強制終了した場合は、再度電源を入れて、（スタート）▶シャットダウンの順にクリックし、電源を切ってください。

周辺機器やメモリーカードの取り扱いについて

- テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。
  録画に失敗する原因となります。

WinDVDに関する注意

- 録画中は、「WinDVD」を起動しないでください。
  録画中に「WinDVD」を起動すると、録画データにコマ落ちが発生するなどの影響があります。

録画したデジタル放送番組に関する注意

- ハードディスクにある録画データは、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません。録画したパソコンでのみ再生可能です。
- 録画データは、外付けハードディスクなどにバックアップ（一時的にデータを退避）できます。バックアップするためには録画データより大きな空き領域が必要なのでご注意ください。ただし、バックアップした状態のままでは、録画番組を再生できません。再生するためには録画したパソコンの録画フォルダーに戻す必要があります。
  外付けハードディスクで再生するためには、外付けハードディスクに番組を録画する必要があります。外付けハードディスクの録画については、「2.5　外付けハードディスク」をご覧ください。
  また、移動（ムーブ）を実行した録画番組は、バックアップしておいたファイルを元の場所に戻しても、再生することはできません。移動（ムーブ）については、「3.2　録画番組を外部記憶媒体に保存する」の「ダビング／移動（ムーブ）について」をご覧ください。
- ハードディスクにある録画データは、編集や加工ができません。
  「Corel Direct DiscRecorder」を使用すると、ディスクに保存した録画番組に対して、チャプターの追加などの編集ができます。詳しくは、「Corel Digital Studio」のマニュアルをご覧ください。
  マニュアルは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Corel Digital Studio for FUJITSU」▶「ユーザーガイド」の順にクリックすると表示されます。
  なお、対応しているディスクについては次の表でご確認ください。

形式	ディスクの種類
DVD-VR	DVD-RW、DVD-RAM
AVCREC	DVD-RW、DVD-RAM
BDAV	BD-RE、BD-RE DL

- 液晶ディスプレイへの再生表示は、ハイビジョン表示にならない場合があります。
  ハイビジョン映像は解像度変換せずに録画されますが、映像出力時に液晶ディスプレイの解像度に変換される場合があります。
- このパソコンで録画すると、パソコンのテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 予約録画について

予約録画開始前の注意

- LIFEBOOKをお使いの場合、液晶ディスプレイを閉じないでください
  放熱が妨げられるため、故障の原因となります。
- B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
  B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。
- BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を予約録画するときは、「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧になり、アンテナに電源を供給する接続や設定になっているか、確認してください。
  放送中の番組を視聴、録画するときだけではなく、予約録画するときも、アンテナ電源の供給が必要です。
- アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
  予約録画が失敗する原因となります。予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。
- 2つ以上の予約録画が連続している場合、前に予約しているテレビ番組の、最後の約1分間が録画されません。
- 録画予約時間が複数のユーザーで重ならないようにしてください。
  電源を切った状態から予約録画をする場合は、テレビの録画予約が複数のユーザーアカウントで重ならないように注意してください。録画予約時間が重複する場合は、先に予約録画が始まったアカウントの設定が優先され、他のアカウントで設定していた録画予約は実行されません。
- 「DigitalTVbox」はユーザーアカウントが「管理者」、または「標準ユーザー」となっているユーザーでのみ予約録画できます。
  「Guest」でログオンした場合、「DigitalTVbox」が起動しないため予約録画できません。
- 番組が延長された場合や、番組時間が変更された場合は、ハードディスクの空き容量が足りなくなり、予約録画が中断されることがあります。

スリープや休止状態から予約録画するときの注意

- スリープや休止状態から復帰するときとスクリーンセーバーを解除するときにパスワードを入力する設定になっていると、スリープや休止状態から予約録画ができません。
  スリープや休止状態から予約録画をするときは、次のように設定してください。
  1. （スタート）▶「コントロールパネル」の順にクリックします。
  2. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の「スリープ解除時のパスワードの要求」の順にクリックします。
  3. 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」ウィンドウで「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
  4. 「パスワードを必要としない」のをクリックしてにします。
  5. 「変更の保存」をクリックします。
  6. をクリックします。
  7. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
  8. 「個人設定」ウィンドウで「スクリーンセーバー」をクリックします。
  9. 「再開時にログオン画面に戻る」のをクリックしてにします。
  10. 「OK」をクリックします。

2.2　テレビ番組を録画する

ここでは、見ている番組や番組表から選んだ番組を録画したり、予約録画をする方法について説明します。

■ 見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組やチャンネル切り替えをしながらみつけた番組を録画したいときは、次の操作ですぐに録画を開始できます。

1. 録画したい放送波やチャンネルに切り替えます。
2. 【録画】を押します。
3. 録画を停止するときは、録画しているチャンネルに切り替えて【停止】を押します。
   - 【録画】を2回押すと「この番組終了まで」、3回押すと「次の番組終了まで」、それぞれ録画終了タイマーが設定されます。
   - マウスで操作するときは、操作パネル上の●／■を押して録画を開始・終了します。

■ 録画の設定をする

1. テレビを起動した状態で【メニュー】を押します。
2. ‹ ⌃⌄ ›で「設定」を選択し、【決定】を押します。
3. 「マウスでの操作に切り換わります。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、「はい」を選択し、【決定】を押します。

   この後はマウスを使って操作してください。
4. 録画番組のデータを保存するドライブについて設定するときは、左側のメニューで「録画／再生設定」▶「保存先ドライブ」の順にクリックします。



設定を変更したら「適用」をクリックします。

5. 「データ放送保存」、「画質モード（録画番組）」、「持ち出し用ファイル作成」について設定するときは、左側のメニューで「録画」をクリックします。



設定を変更したら、「適用」をクリックします。
設定がすべて終わったら「OK」をクリックして画面を閉じます。

設定項目

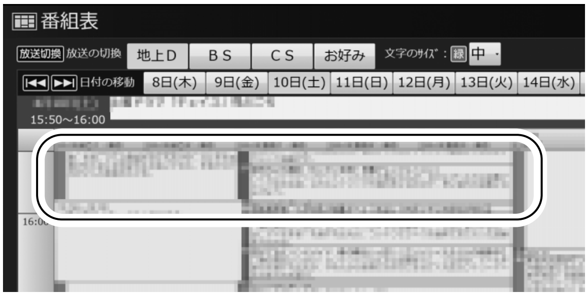
保存先ドライブ設定	録画番組のデータを保存するドライブを設定します。DVD、Blu-ray Discなどには録画できません。
最初に使用する保存先ドライブ	録画番組のデータを最初に保存するドライブを設定します。
データ放送保存	番組に含まれているデータ番組のデータを保存するかを設定します。
画質モード（録画番組）	録画画質（画質モード）を指定します。録画画質については、「2.3　録画画質について」をご覧ください。
持ち出し用ファイル作成	録画番組をSDメモリーカード、メモリースティック、PSPまたはウォークマンに書き出す場合に、書き出したい外部記憶媒体を選択します。

■ 番組表で予約録画する

番組表から予約録画をする方法について説明します。

1. 【番組表】を押します。

2. ‹ ‸ › で予約したい番組を選択し、【決定】を押します。



番組表の使い方については、「1.4　番組表を使う」をご覧ください。

3. 「詳細」画面で、【録画】を押すと、予約が登録されます。



- 必要に応じて、「画質」や「くりかえし」の設定を変更することができます。
  - ・くりかえし：定期的な予約録画を行う場合に録画頻度を変更します。
- 予約録画が登録された番組は、番組表上にアイコン◷が表示されます。

■ 予約録画を変更する

1. 【予約一覧】を押します。
2. ‹↕›で変更したい番組を選択し、【黄】を押します。
3. 【青】や【緑】を押し、‹↕›で各種設定を変更します。
4. 設定変更が完了したら、【赤】を押します。

■ 予約録画を取り消す

1. 【予約一覧】を押します。
2. ‹↕›で変更したい番組を選択します。
3. 【0（ゼロ）】を押します。
4. ‹↕›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

Point パソコンの時刻合わせ

パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。
地上デジタル放送を受信できる場合は、アンテナを接続しておけば自動的に時刻合わせができます。受信できない場合は、手動で時刻合わせを行ってください。時刻を合わせるときは、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「時計、言語、および地域」▶「日付と時刻の設定」の順にクリックします。設定方法について、詳しくは「日付と時刻」タブの「時計とタイムゾーンの設定方法」をクリックし、表示される説明をご覧ください。

2.3　録画画質について

録画するときの画質について説明します。録画番組のデータは、画質によって状態やサイズなどが異なります。

■ 画質選択について

画質モードの設定方法については、「2.2　テレビ番組を録画する」の「録画の設定をする」をご覧ください。
また、予約録画時に番組ごとに設定する場合は、「番組表で予約録画する」をご覧ください。

		DR（最高画質）	HX（高画質）	HS（長時間）注1	HL（超長時間）注1
データ形式		MPEG2-TS （音声：AAC）	MPEG4/AVC （音声：AAC）	MPEG4/AVC （音声：AAC）	MPEG4/AVC （音声：AAC）
ダブル録画		可能	可能	可能	可能
録画中の別番組視聴		可能	可能	可能	可能
録画中の録画データ再生		可能	可能	可能	可能
録画データの状態	画質 注2	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)
	データ放送のデータ	保存	削除	削除	削除
	番組情報のデータ	保存	保存	保存	保存
	字幕放送のデータ	保存	保存	保存	保存
	副音声	保存	保存	保存	保存
	5.1チャンネル音声	保存	保存	保存	保存
データサイズの目安 4.7GBのDVDに何時間分の録画データを保存できるか		約1時間 保存時に標準画質（SD画質）に変換	約1時間	約2時間	約4時間

注1： スポーツや音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をHS（長時間）やHL（超長時間）で録画すると、ブロック状のノイズが出たり、映像がスムーズに再生されないなどの現象が出ることがあります。このような番組を録画する場合は、DR（最高画質）またはHX（高画質）で録画することをおすすめします。

注2： 放送が標準（SD）放送の場合は標準（SD）になります。

■ 録画データを保存するために必要なハードディスク容量

放送番組の種別		画質モード	1時間分の録画データを保存するためのハードディスク容量
地上デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	DR（最高画質）	約7650MB（約7.6GB）
		HX（高画質）	約4200MB（約4.2GB）
		HS（長時間）	約2200MB（約2.2GB）
		HL（超長時間）	約1400MB（約1.4GB）
	標準（SD）放送	DR（最高画質）	約3600MB（約3.6GB）注
		HX（高画質）	約4200MB（約4.2GB）
		HS（長時間）	約2200MB（約2.2GB）
		HL（超長時間）	約1400MB（約1.4GB）
BS・110度CS デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	DR（最高画質）	約10800MB（約10.8GB）
		HX（高画質）	約4200MB（約4.2GB）
		HS（長時間）	約2200MB（約2.2GB）
		HL（超長時間）	約1400MB（約1.4GB）
	標準（SD）放送	DR（最高画質）	約4950MB（約4.9GB）
		HX（高画質）	約4200MB（約4.2GB）
		HS（長時間）	約2200MB（約2.2GB）
		HL（超長時間）	約1400MB（約1.4GB）

容量は、1MB =1000^2bytes、1GB =1000^3bytes換算値

注：　標準（SD）放送を高画質で録画したとき、最高画質よりハードディスク容量を必要な場合があります。画質モードを長時間または超長時間にして録画することをお勧めします。

2.4　電源を切った状態から予約録画をする

このパソコンでは、録画予約をしておけば、パソコンの電源が切れていても自動的に起動して録画を開始することができます（「PowerUtility-スケジュール機能」）。また、画面や音声を消した状態のまま、予約録画を実行することができます（「おやすみディスプレイ」機能）。夜中や留守中に録画を開始したいときに便利です。

■ 電源を切った状態から予約録画をするときの注意

テレビの録画予約15分前にはパソコンの電源を切ってください。
予約録画が始まる時間の直前に電源を切ったり、パソコンがスリープや休止状態になっていてシャットダウンされていなかったりすると、設定どおりに正しく動作しない場合があります。

■ 「PowerUtility-スケジュール機能」について

- 「PowerUtility-スケジュール機能」は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PowerUtility」▶「スケジュール」▶「PowerUtility-スケジュール機能」の順にクリックして起動することができます。



- 電源を切った状態からの予約録画には「PowerUtility-スケジュール機能」を使用します。「PowerUtility-スケジュール機能」を削除すると、録画予約時間に自動的に電源を入れたり、録画終了後に電源を自動的に切ったりすることができなくなりますのでご注意ください。
- Windowsのログオンパスワードを設定した場合は、「PowerUtility-スケジュール機能」にも、そのパスワードを設定してください。また、Windowsのログオンパスワードを変更した場合にも、「PowerUtility-スケジュール機能」のパスワード変更が必要です。設定の手順について、詳しくは「PowerUtility-スケジュール機能」の画面で「ヘルプ」▶「使用方法について」をご覧ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」の「電源オフからのTV録画予約（DigitalTVbox）」が設定された状態でパソコンの電源を切り、再度電源を入れると、録画予約を設定したユーザーアカウントに自動でログオンされます。
このとき、パソコンに複数のユーザーアカウントが登録されていても、パスワード入力画面は表示されませんのでご注意ください。

- 「PowerUtility-スケジュール機能」はBIOSセットアップの「時刻による電源オン」を使用しています。「PowerUtility-スケジュール機能」を起動した後、録画のスケジュールが設定されていない場合には、Windowsの起動時にBIOSセットアップの設定が自動的に変更され、「使用しない」に設定されます。

■「おやすみディスプレイ」機能について（**ESPRIMO**のみ）

「おやすみディスプレイ」は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PowerUtility」▶「スケジュール」▶「おやすみディスプレイ設定変更」の順にクリックして表示される画面で、設定を変更できます。

2.5　外付けハードディスクを使う

このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画することができます。また、外付けハードディスクにある録画番組は、そのままディスクに保存することもできます。ここでは外付けハードディスクを使うときの準備や、注意事項を説明します。

■ 外付けハードディスクに録画するときの注意

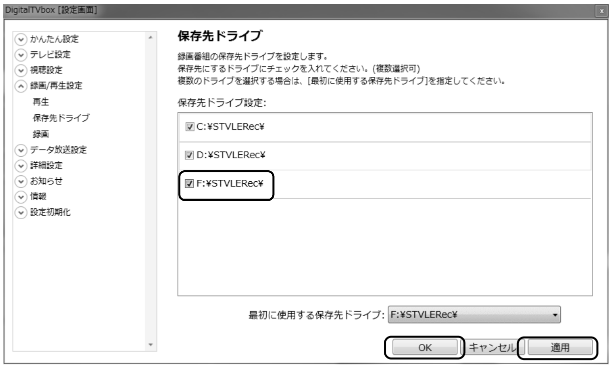
- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用することができます。
- 外付けハードディスクは本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画に失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。「最初に使用する保存先ドライブ」が録画開始時に使用可能な状態になっていない場合、「保存先ドライブ」として指定されている他のドライブに録画されます。他のドライブが保存先として指定されていない場合や、空き容量が足りない場合には録画ができませんので、ご注意ください。

■ 録画の準備をする

ご購入時の状態では、録画番組は内蔵ハードディスクに保存されます。USB接続した外付けハードディスクに直接録画するときは、録画の前に次の手順で録画番組の保存先を変更してください。

1. テレビを起動した状態で【メニュー】を押します。
2. ‹ ⌃⌄ ›で「設定」を選択し、【決定】を押します。
3. 「マウスでの操作に切り換わります。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、「はい」を選択し、【決定】を押します。

   この後はマウスを使って操作してください。
4. 左側のメニューで「録画/再生設定」▶「保存先ドライブ」の順にクリックします。
5. 「保存先ドライブ設定」で、外付けハードディスクの☐をクリックして☑にします。
6. 「最初に使用する保存先ドライブ」で外付けハードディスクを選びます。



   設定を変更したら、「OK」をクリックします。

第3章　録画番組を再生する／保存する

本章では、ハードディスクに録画した番組を再生したり、ディスクに保存したり、削除する方法について説明します。

3.1　録画番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明します。

■ 録画番組の再生

1. 【録画番組】を押します。
2. ‹˄˅›で見たい番組を選択し、【再生】を押します。
   番組の再生が始まります。
3. 番組の再生を終える場合は、【停止】を押します。
   録画番組の一覧に戻ります。



■ 録画番組を再生するときの注意

- このパソコンで録画すると、パソコンのテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、他の機器で再生することはできません。

■ 再生中の操作

録画した番組の再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	[停止 ■]
一時停止する	[一時停止 ❚❚]
一時停止後に再生する	[一時停止 ❚❚] [再生 ▶]
早送りする	[早送り ▶▶]
巻き戻す	[巻戻し ◀◀]
約30秒間早送りする 注1	[順スキップ ▶▶❘]
約10秒間巻き戻す 注1	[逆スキップ ❘◀◀]

注1：スキップする秒数は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「録画／再生設定」▶「再生」の順に選択することで、変更できます。

Point 再生速度を変更するには

次の操作により、再生速度を早くしたり、遅くしたりして視聴できます。

- [早送り ▶▶]を1～3回押す（早見再生）
  再生速度が×1.2（1回目）、×1.5（2回目）、×2.0（3回目）となる。
- [再生 ▶]を1回押す（ゆったり再生）
  再生速度が×0.8となる。

3.2　録画番組を外部記憶媒体に保存する

ハードディスクに録画したテレビ番組は、「DigitalTVbox」を使って、DVD、Blu-ray Disc、SDメモリーカード、メモリースティック、PSP、ビデオ再生対応のウォークマンなどの外部記憶媒体に保存できます。ここでは、録画番組を外部記憶媒体に保存する操作について説明します。

重要　**AACSキーを更新してお使いください**

Blu-ray Discへ録画データを保存する場合、および画質モードが「最高画質」以外の録画データをDVDに保存する場合は、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化されるときには、「AACSキー」という電子データが働きます。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法について詳しくは、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。

http://www.fmworld.net/aacs/

■ 書き出し可能な外部メディア

ディスク

対応するディスクには、DVDとBlu-ray Discがあります。
このパソコンの推奨ディスクについては、『取扱説明書』の「推奨ディスク」をご覧ください。

DVD※　**DVD-R**　**DVD-R DL**　**DVD-RW**　**DVD-RAM**

※ CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVDRAMに保存できます。

- DVD-R、DVD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。また録画データを保存したディスクに、データは追記できません。
- DVD-RW、DVD-RAMは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- CPRM対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したプレーヤーで再生できます。
  なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- DVD-RAMは、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。
  カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、カートリッジからディスクを無理に取り出して使わないでください。

Blu-ray Disc　BD-R　BD-R DL　BD-RE　BD-RE DL

- 大容量のデータ保存が可能です。
  地上デジタル放送やハイビジョン（HD）放送などの保存に適しています。
- BD-R、BD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。
- BD-RE、BD-RE DLは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。
  データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- Blu-ray Discに保存したテレビ番組は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）で再生できます。
- このパソコンは、BD-RE Ver1.0に対応していません。
- BD-R LTH Type（記録層に有機色素材料が使用されているBD-R）に対応しています。

SDメモリーカード

- SDメモリーカードをダイレクト・メモリースロットに差し込んで、データを書き出すことができます。
- SDメモリーカードには、3gp形式で書き出されます。この形式の動画ファイルを再生できる機器で視聴することができます。
- SDメモリーカードに書き出すためには、録画や予約録画を行う前に録画設定で「持ち出し用ファイル作成」を「ON（SDメモリカード）」と設定する必要があります。設定の手順については、「2.2　テレビ番組を録画する」の「録画の設定をする」をご覧ください。
- DigitalTVboxではSDメモリーカードのフォーマットはできません。SDメモリーカードを使用する場合は、あらかじめ、再生する機器でフォーマットを行ってください。
- 複数のSDメモリーカードにまたがって書き出すことはできません。
- SDXCカードには対応しておりません。SDメモリーカードまたはSDHCカードをご使用ください。

メモリースティック、PSP、ウォークマン

- メモリースティックをダイレクト・メモリースロットに差し込んで、データを書き出すことはできません。マジックゲートに対応したメモリースティックライターなどをUSBコネクタに接続し、書き出してください。
- メモリースティックに書き出したデータは、PSPで再生することができます。
- PSP、ウォークマンを、USBコネクタに接続して、データを書き出すことができます。
- メモリースティック、PSP、ウォークマンに書き出すためには、録画や予約録画を行う前に録画設定で「持ち出し用ファイル作成」を「ON（メモリースティック/PSP/ウォークマン）」と設定する必要があります。設定の手順については、「2.2　テレビ番組を録画する」の「録画の設定をする」をご覧ください。
- DigitalTVboxではメモリースティックのフォーマットはできません。メモリースティックを使用する場合は、あらかじめ、再生する機器でフォーマットを行ってください。
- 複数のメモリースティックにまたがって書き出すことはできません。

■ 作成されるディスクの状態

画質モードにより、作成されるディスクの状態が異なります。例えば、画質モードが「最高画質」の録画データをDVDに保存すると、録画データはハイビジョン画質（HD画質）から標準画質（SD画質）に変換されて格納されます。

次の表は、ハードディスクの録画データをディスクに保存したときに、ディスク上の録画データがどのような状態になっているかをまとめたものです。

＊：ディスクに保存したときに、ハードディスク上の録画データから変換や削除される項目

ー：ハードディスクに録画された時点、または画質変換された時点で存在しない項目

		DR（最高画質）	HX（高画質）	HS（長時間）	HL（超長時間）
フォーマット形式	DVD	DVD-VR	AVCREC	AVCREC	AVCREC
	Blu-ray	BDAV2.0	BDAV2.1	BDAV2.1	BDAV2.1
画質 注1	DVD	標準(SD)に変換＊	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)
	Blu-ray	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)
データ放送のデータ 注2	DVD	削除＊	―	―	―
	Blu-ray	保存	―	―	―
番組情報のデータ 注2	DVD	削除＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存
字幕放送のデータ 注2	DVD	削除＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存
副音声	DVD	音声1以外は削除＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存
5.1チャンネルの音声	DVD	2チャンネルに変換＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存

注1：ハイビジョン（HD）放送の録画データの場合です。

注2：ディスク上に、データ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」または「PowerDVD」では表示されません。

Point 画質モードと**DVD**のフォーマット形式について

- DVDに録画データを保存する場合、録画データの画質モードによって、作成されるディスクのフォーマット形式が大きく異なりますので、ご注意ください。
- 録画データの画質モードが「最高画質」の場合は、「DVD-VR」形式のディスクを作成できます。
- 録画データの画質モードが「最高画質」以外の場合は、「DVD-VR」形式でのディスク作成はできず、「AVCREC」形式のみのディスク作成となります。

■ 記録時間の目安

DVD　画質モードが「DR（最高画質）」の録画データの場合

画質モードを「DR（最高画質）」にして録画したデータをDVDに保存する場合、保存操作中に「高画質（XP）」「標準画質（SP）」「長時間（LP）」「ぴったり」の4つの記録モードを選択できます。記録モードごとの記録時間の目安は、次のとおりです。

記録モード	DVD-R/DVD-RW/ DVD-RAM 注1（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
高画質（XP）	約1時間	約2時間
標準画質（SP）	約2時間	約3.5時間
長時間（LP）	約4時間	約7.5時間
ぴったり 注2	約4時間	約7.5時間

注1：	DVD-RAMの片面ディスクです。

注2：	ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。表内の時間は、1枚のディスクに最長何時間のテレビ番組を収めることができるかを示しています。なお、両面ディスクを使用した場合は、片面のみへの書き込みとなります。
・ディスクの空き容量によっては、ぴったり収まらない場合があります。
・1時間に満たないテレビ番組は、ディスクに空き容量ができる場合があります。

DVD　画質モードが「DR（最高画質）」“以外”の録画データの場合

画質モードを「HX（高画質）」「HS（長時間）」「HL（超長時間）」のいずれかにして録画したときの、画質モードごとの記録時間の目安は次のとおりです。

画質モード	DVD-R/DVD-RW/DVD-RAM 注（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
HX（高画質）	約1時間	約2時間
HS（長時間）	約2時間	約3.5時間
HL（超長時間）	約4時間	約7.5時間

注：	DVD-RAMの片面ディスクです。

Blu-ray Disc

録画時の画質モードごとの記録時間の目安は次のとおりです。

画質モード	BD-R/BD-RE（約25GB）	BD-R DL/BD-RE DL（約50GB）
DR（最高画質）	約3時間	約6時間
HX（高画質）	約6時間	約12時間
HS（長時間）	約12時間	約24時間
HL（超長時間）	約24時間	約48時間

SDメモリーカード

画質モードを指定することはできません。280MBで約1時間、録画することができます。1番組につき最大2GB（約6.5時間）まで録画することができます。2GBを超えた部分は、録画されませんのでご注意ください。

メモリースティック、PSP、ウォークマン

画質モードを指定することはできません。220MBで約1時間、録画することができます。1番組につき最大2GBまたは6.5時間まで録画することができます。2GBまたは6.5時間を超えた部分は、録画されませんのでご注意ください。

■ ダビング／移動（ムーブ）について

このパソコンでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を外部記憶媒体に保存できます。外部記憶媒体に保存する方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビングとは

パソコンのハードディスクに録画番組を残したまま、外部記憶媒体にデータをコピー（バックアップ）する機能です。

移動（ムーブ）とは

ハードディスクの録画番組を、外部記憶媒体に保存する機能です。「移動（ムーブ）」の名のとおり、録画した番組のデータを外部記憶媒体に保存した後は、ハードディスクからデータが削除されます。

ダビング／移動（ムーブ）の特徴

- 録画番組をCPRM対応ディスクに保存できます。各ディスクの特徴や、ダビング時のディスクの状態などについては、「3.2　録画番組を外部記憶媒体に保存する」をご覧ください。
- DVDに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーで再生できます。なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- Blu-ray Discに保存したテレビ番組は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）またはBlu-ray Discに対応したプレーヤーで再生できます。
- SDメモリーカードには、3gp形式で書き出されます。この形式の動画ファイルを再生できる機器で視聴することができます。
- メモリースティックに書き出したデータは、PSPで再生することができます。

ダビング／移動（ムーブ）をするときの注意

- ダビング／移動（ムーブ）はリモコンで操作することができません。マウスを使って操作してください。
- 他のソフトウェアは終了させてください。
- ダビング、または移動（ムーブ）中は、録画番組の視聴はできません。
- 大切な録画データを外部記憶媒体に保存する前に、テスト用の録画データで外部記憶媒体に保存し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
- 録画データを保存する外部記憶媒体にデータが入っていた場合、フォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、新しい外部記憶媒体を用意してください。
- 状況によって外部記憶媒体への書き出しは、録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。外部記憶媒体を作成する画面に表示される「完了予測時間」を目安としてご確認ください。
- 「DigitalTVbox」で録画データをDVD-RAMに追記する場合、録画データのみが入っているときは、追記できます。録画番組以外のデータが入っているときは、追記できません。

- ディスクへ書き出す場合、移動（ムーブ）の途中でキャンセルすると、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画データをダビングの途中でキャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。
- ディスクへ書き出す場合、ダビング設定の録画データをダビングの途中でキャンセルすると、その時点までのデータがディスクに書き込まれます。ハードディスクに残ったデータは、再びダビングすることはできません。
- メモリーカード、PSP、ウォークマンなどの外部記憶媒体に書き出す場合、移動（ムーブ）の途中でキャンセルすると、データは外部記憶媒体に書き込まれず、ハードディスクからも削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、データは外部記憶媒体に書き込まれず、ダビング可能回数が1回減ります。
- 移動（ムーブ）中や、ダビング設定の録画データをダビング中に、強制シャットダウンや、停電による電源断など不慮の事故により、パソコン本体が停止したり、記録している外部記憶媒体の傷や汚れにより、書き込みが中断したりした場合、移動（ムーブ）を実行した録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除される場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。
- 『取扱説明書』にも、外部記憶媒体に書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

コピー制御信号の種類

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。この信号には、「ダビング10」「コピーワンス」「コピーフリー」「コピーネバー」の4種類があります。

ダビング10

ハードディスク内に録画番組を残したまま、最大9回までデータを外部記憶媒体にコピーすることができ、10回目にデータを外部記憶媒体に保存すると、データがハードディスクから移動（ムーブ）して削除されます。

コピーワンス

ハードディスクに録画を行った時点で、1回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、外部記憶媒体に録画番組を保存したい場合は、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画データは自動的に削除されます。

コピーフリー

ハードディスクに録画した後、その録画データを外部記憶媒体に何回でもコピーできる信号です。

コピーネバー

ハードディスクへの録画、および外部記憶媒体への保存ができない信号です。

■ ダビング／移動（ムーブ）する

1. 外部記憶媒体をパソコンに接続します。

ディスクは、Blu-ray Discドライブにセットしてください。

SDメモリーカードは、ダイレクト・メモリースロットに差し込んでください。

メモリースティックは、ダイレクト・メモリースロットに差し込んで書き出すことができません。メモリースティックライターなどをUSBコネクタに接続し、それにメモリースティックを差し込んでください。

PSP、ウォークマンは、USBコネクタに接続してください。

2. 【録画番組】を押します。

録画番組の一覧が表示されます。



3. 【メニュー】を押して表示されるメニューから、‹↕›で「書き出し」を選択し、【決定】を押します。



4. 「マウスでの操作に切り換わります。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、‹↕›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

この後の操作は、マウスで行います。

5. 「書き出し先」で書き出し先のドライブを選択します。



6. 「メディアを確認しました。[次へ]をクリックしてください。」というメッセージが表示されたら、「次へ」をクリックします。

7. 外部記憶媒体に保存したい録画番組を選択し、「書き出し」をクリックします。

【Ctrl】キーを押しながらクリックすると、複数の番組を選択することができます。ただし、記録モードが「DR」の番組は、画質の異なる番組と同時に書き出しをすることができません。



「書き出しを実行すると、ダビング10または･･･」というメッセージが表示されたら内容を確認し、続行する場合は「はい」をクリックします。

書き出しが開始されます。
書き出し作業の進行状況は通知領域にある▲をクリックし、をクリックすると確認することができます。



3.3　ディスクに保存した録画番組を再生する

ここでは、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明します。ディスクに保存したテレビ番組を再生するには、添付のソフトウェア「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種でBlu-ray Discを再生する場合は「PowerDVD」）が必要です。
「WinDVD」、「PowerDVD」について、詳しくは、各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
「Windows Media Player」やその他の市販のソフトウェアでは、Blu-ray Discは再生できません。

■ ディスクを再生するときの注意

- 保存したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」、「PowerDVD」では表示されません。
- お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアを終了させてください。また、再生中は他のソフトウェアの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」、「PowerDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  より快適にディスクを視聴するために、各ソフトウェアを常に最新の状態に更新してお使いください。各ソフトウェアを更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、『取扱説明書』の「アップデートナビを実行する」をご覧ください。
- テレビ番組を録画している間は、ディスクを再生しないでください。
  ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、予約録画が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- このパソコンのAACSキーを更新してお使いください。
  Blu-ray Disc内の録画データ、および画質モードが「最高画質」以外の録画データは、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化されたデータを再生するときには、「AACSキー」という電子データが働きます。AACSキーはこのパソコンに入っています。パソコンに入っているAACSキーには有効期限が設けられているため、定期的に更新する必要があります。更新する方法について詳しくは、インターネットに接続して次のURLをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/aacs/

■ ディスクに保存した録画番組の再生

1. ディスクをパソコン本体にセットします。

「自動再生」ウィンドウが表示されます。

2. **「***ビデオの再生 -Corel WinDVD使用」（3D対応ディスプレイ搭載機種でBlu-ray Discを再生する場合は「PowerDVD」）をクリックします。**

「***」には、DVDの場合は「DVD」が、Blu-ray Discの場合は「BDDVD」が表示されます。

3.4　録画番組を削除する

ここでは、ハードディスク内の録画番組を削除する操作について説明します。
録画番組を削除すると、元に戻すことはできないので、注意してください。

1. 【録画番組】を押します。

   録画したテレビ番組の一覧が表示されます。

2. ‹ ⌃⌄ ›で削除したい録画番組を選択します。



3. 【**0**（ゼロ）】を押します。

4. 「録画番組を削除しますか？」というメッセージが表示されたら、‹ ⌃⌄ ›で「はい」を選択し、【決定】を押します。

   テレビ番組が削除されます。

第4章　困ったときのQ&A

本章では、画面表示や音声などでトラブルが発生した場合の原因と対処法について説明します。

4.1　画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するトラブルをまとめています。

点灯したままの点や黒い点が画面に表示される

液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。有効ドット数[注]の割合は99.99%以上です。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

注：　有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイが表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。

番組によって映像の周りに黒い部分がある

アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。
これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

画面の解像度が横1024ドット以上、かつ縦660ドット以上の設定でない場合、
「DigitalTVbox」は起動しません。
また、電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。
ご確認ください。

原因	ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない
対処	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」をご覧ください。

原因	電源が入っていない
対処	電源を入れてください。 詳しくは、『取扱説明書』の「電源を入れる／切る」をご覧ください。

原因	「おやすみディスプレイ」機能を使用している（ESPRIMOのみ）
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。

原因	画面オフボタンを押した状態にしている（ESPRIMOのみ）
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。

原因	「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている
対処	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。

DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	ディスクが裏返しになっている
対処	ディスクの表裏を確認してください。

原因	ディスクが汚れている
対処	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。

原因	ディスクに傷がある、またはディスクが反っている
対処	傷ついたディスクや反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。

原因	ファイナライズされていない
対処	書き込みに使う機器やソフトウェアの種類によって、互換性に違いがあります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やソフトウェアのマニュアルなどをご確認ください。

Blu-ray Discが再生できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	「WinDVD」以外のソフトウェアで再生しようとした
対処	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」（3D対応ディスプレイ搭載機種の場合は「PowerDVD」）でご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない
対処	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない
対処	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2010年8月現在）をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。

原因	地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない
対処	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	B-CASカードが正しくセットされていない
対処	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

原因	ケーブルテレビの伝送方式が対応していない
対処	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。 伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。

原因	チャンネル設定が地域と合っていない
対処	地上デジタル放送で地域を設定するとき、実際にお住まいの地域とは別の場所を設定したほうが良い場合があります。選択可能な地域の中からお近くの地域を試しに設定し、放送局とチャンネルが普段ご利用の状況に最も適合するものを選択してください。 地域の設定は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「テレビ設定」▶「地域／チャンネルスキャン」の順に選択してください。 詳しくは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox取扱説明書」▶「設定」▶「テレビ設定」の順にクリックし、「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	電波が弱い
対処	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きの調整や、アッテネーター機能の設定を変更してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「1.1　テレビを見るための準備をする」の「受信レベルの確認」をご覧ください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	UHFアンテナの向きが違う
対処	デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

原因	電波が弱い
対処	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きの調整や、アッテネーター機能の設定を変更してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「1.1　テレビを見るための準備をする」の「受信レベルの確認」をご覧ください。

原因	アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい
対処	アンテナケーブルがパソコン本体のコネクタにしっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。

原因	分配器を使用していることで電波が弱くなっている
対処	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。

原因	他のソフトウェアが動作中
対処	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ・他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない
対処	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

原因	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを使用していない
対処	BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送用アンテナや、ブースター、ケーブルなどが必要です。 詳しくは、『取扱説明書』の「接続方法を確認する」をご覧ください。

原因	アンテナ電源が供給されていない
対処	BS・110度CSデジタル放送用アンテナを個人で設置している環境の場合、アンテナにアンテナ電源を供給する必要があります。アンテナ電源について詳しくは、「1.6　BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ電源の供給について」をご覧ください。

原因	有料放送の申し込みをしていない
対処	有料放送の番組を見るには、別途申し込みをする必要があります。 詳しくは、各放送局にお問い合わせください。

原因	B-CASカードが正しくセットされていない
対処	B-CASカードが正しくセットされていないと、BS・110度CSデジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。

原因	他のソフトウェア動作中
対処	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ・他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	雨、強風などの悪天候により、アンテナが揺れたり、電波が弱くなったりしている
対処	BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱くなることがあります。天候の回復を待ってください。また、このとき録画した番組は、正常に再生できないことがあります。

原因	電波が弱い
対処	アンテナの受信レベルを画面で確認しながらアンテナの向きを調整してください。 アンテナの受信レベルの確認方法については、「1.1　テレビを見るための準備をする」の「受信レベルの確認」をご覧ください。アンテナを調整しても受信レベルが改善されない場合は、アンテナ工事業者やお近くの電気店にご相談ください。

原因	分配器を使用していることで電波が弱くなっている
対処1	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
対処2	アンテナケーブルをパソコン本体に直接接続してください。

「リカバリ」または「マイリカバリ」を実行したら、録画番組が表示されなくなった

「リカバリ」または「マイリカバリ」を実行すると、「システムリカバリーによって録画情報が消去された可能性があります。」というメッセージが表示される場合があります。このような場合は、録画番組が録画番組一欄に表示されないことがありますので、「はい」を選択し、「録画情報管理ツール」を起動してください。

詳しくは、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「PIXELA」▶「DigitalTVbox」▶「DigitalTVbox取扱説明書」▶「総合目次」▶「管理する」▶「「リカバリ」や「マイリカバリ」を使用した場合」の順にクリックし、「DigitalTVbox取扱説明書」をご覧ください。
総合目次で「管理する」の項目が見つからない場合は、ページを切り替えてください。

4.2　音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するトラブルをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	音量が小さすぎる
対処	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。

原因	パソコン本体にヘッドホンが接続されている
対処	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。

原因	USBオーディオ経由で音声を出力している
対処	「DigitalTVbox」は、USBオーディオへの音声出力は対応していません。パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子などに接続したスピーカーを使用してください。

原因	音声出力をAACに設定している
対処	「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「視聴設定」▶「音声出力」の順に選択し、「音声出力形式」を「AAC」にしている場合、パソコン本体のスピーカーからは音声が出力されません。

雑音が聞こえる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している
対処	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。

原因	受信できないチャンネルを選択した
対処	他のチャンネルを選択してください。チャンネルの選択方法については「1.3　テレビを見る」の「リモコン」をご覧ください。

4.3　操作が効かない

ここでは、リモコン、予約録画、双方向サービス、スリープや休止状態に関するトラブルをまとめています。

リモコンが効かない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	リモコンの電池が消耗している
対処	リモコンの電池を交換してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンに乾電池を入れる」をご覧ください。

原因	リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている
対処	電池には使用推奨期限が明記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。

原因	リモコンの電池が正しい向きに入っていない
対処	電池の極性（＋−）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンに乾電池を入れる」をご覧ください。

原因	ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない
対処	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」をご覧ください。

原因	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている
対処	パソコンの向き、設置場所を変えてください。

原因	リモコンの信号をパソコンが正しく受信していない
対処	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「リモコンをお使いになるうえでの注意」をご覧ください。

原因	リモコンマネージャーが起動していない
対処	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある（隠れているインジケーターを表示します）をクリックし、が表示されているか確認してください。表示されていない場合は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「リモコンマネージャー」▶「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域の隠れている部分に、が表示されたことを確認してください。また、パソコンのセットアップ時に「必ず実行してください」を実行していないと、リモコンマネージャーが正常に動作しないことがあります。デスクトップに（必ず実行してください）が表示されている場合は、クリックして「必ず実行してください」の処理を終了してください。

原因	リモコンマネージャーがインストールされていない
対処	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 詳しくは、Web『補足情報』の「ソフトウェア」をご覧ください。

予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。
なお、「録画番組」画面（詳しくは、「3.1　録画番組を再生する」をご覧ください）で番組を選択し、「録画番組詳細」画面に表示される「録画結果」もあわせてご確認ください。



原因	予約番組の前に放送されていた番組が延長され、番組の開始時刻が遅れたために、次の予約が優先された
対処	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

原因	スポーツ中継の延長や、雨天などにより、予約番組の放送が中止された
対処	「録画結果」に「別の予約を優先したため録画を【中止／中断】しました。」または「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」と表示されます。予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

原因	パソコンを強制終了したために、「PowerUtility」が予約時刻に起動していない
対処	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画されません。強制終了した場合は、再度（スタート）▶シャットダウンの順にクリックし、電源を切ってください。

原因	通知領域のを右クリックして、「終了する」をクリックした
対処	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。画面右下の通知領域にあるをクリックし、を右クリックして表示されるメニューから「終了する」をクリックした場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。予約録画を行う場合は、リモコンの【終了】を押すか、「メニュー」▶「待機モードへ」もしくは、通知領域にあるアイコンから「待機モードへ」をクリックし、「DigitalTVbox」を待機状態にしてください。

原因	ログオフ画面からシャットダウンした
対処	「録画結果」に「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」と表示されます。（スタート）▶シャットダウンの▶「ログオフ」の順にクリックし、ログオフ後に表示される画面からをクリックしてシャットダウンした場合は、予約を行ったユーザーでログオンが行われないため、予約録画されません。 予約を行ったユーザーでログオンし直し、ログオフしないで電源を切ってください。

原因	予約時刻にWindows Updateが行われた
対処	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」の順にクリックし、「設定の変更」をクリックして表示される画面で、確認、変更できます。

原因	時刻設定が合っていない
対処	「DigitalTVbox」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻を正しく設定してください。 詳しくは、「2.2　テレビ番組を録画する」の「パソコンの時刻合わせ」をご覧ください。

原因	スリープ・休止状態からの復帰ができなかった
対処	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」▶「プラン設定の変更」▶「詳細な電源設定の変更」▶「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているか確認してください。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	利用している番組・放送がモデム接続しかサポートしていない
対処	このパソコンでは、モデム接続しかサポートしていない番組・放送の双方向サービスは利用できません。

スリープや休止状態にならない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	デジタル放送の番組情報データを取得中の状態である
対処	番組情報の取得中は、自動的にスリープや休止状態になりません。 画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示される「DigitalTVbox」アイコンが受信状態表示（）のとき、全チャンネルの番組情報が自動的に取得されます。受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。自動的にスリープや休止状態にする場合は、「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「データ放送設定」▶「自動取得／表示」の順にクリックし、「データ放送自動取得」を「OFF」にしてください。

4.4　メッセージが表示される

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

「DigitalTVbox」でメッセージが表示される

メッセージ	放送チャンネルではないため、視聴できません。コード：E200
対処	別のチャンネルを選んで視聴してください。

メッセージ	この受信機ではこのチャンネルは受信できません。コード：E210
対処	別のチャンネルを選んで視聴してください。

メッセージ	受信レベルが低下しています。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	低階層に切り換わりました。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	信号が受信できません。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E202
対処	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「アンテナケーブルを接続する」をご覧ください。

メッセージ	このチャンネルは存在しません。コード：E204
対処	存在しないチャンネルが選択されています。 チャンネル番号が間違っていないか、確認してください。

メッセージ	現在放送されていません。コード：E203
対処	このチャンネルは現在、放送休止中です。 チャンネルを変えるなどして利用してください。

メッセージ	接続アンテナのショートを検出しました。アンテナとの接続を確認してください。コード：E209
対処	アンテナとパソコンの接続に問題があります。古いアンテナやケーブルを使用している場合にこのメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	センターに接続できませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。コード：E301
対処	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「インターネットに接続する」をご覧ください。

メッセージ	通信ができませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。
対処	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「インターネットに接続する」をご覧ください。

メッセージ	B-CASカードを正しくセットしてください。
対処1	B-CASカードが正しくセットされているかを、次の方法で確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「B-CASカードをセットする」をご覧ください。 1. B-CASカードの向き、表裏が正しいか確認します。 2. 「DigitalTVbox」を起動します。 3. 「メニュー」▶「設定」▶「情報」▶「B-CASカード」の順に選択し、20桁の数字（カードID）が表示されれば、B-CASカードは正しくセットされています。
対処2	B-CASカードをセットし直しても、20桁の数字（カードID）が表示されない場合、パソコンになんらかの問題が発生していますので、故障や修理に関する受付窓口にご相談ください。 詳しくは、『取扱説明書』の「修理サービスを利用する」をご覧ください。

メッセージ	年齢制限設定がありません。
対処	「DigitalTVbox」の年齢制限設定をしていない状態で、視聴に年齢制限がある番組を利用しようとすると表示されます。 次の手順で年齢制限設定を行ってください。 1. 「DigitalTVbox」の「メニュー」▶「設定」▶「詳細設定」▶「視聴制限」の順にクリックします。 2. 「新規暗証番号」および「（再入力）新規暗証番号」を入力し、「登録」をクリックします。 3. 「暗証番号」を入力し、「確定」をクリックします。 4. 「視聴年齢制限」で、年齢を選択し、「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

BSデジタル放送で、NHKの受信料支払いに関するメッセージが表示される

メッセージ	NHKと受信契約をしていない
対処	NHKと受信契約をすると、メッセージ画面が表示されなくなります。受信契約をする場合は、電話でお申し込みください。

索引

テレビ操作ガイド
B6FJ-5201-01-02
発行日　　　2010年10月
発行責任　　富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

テレビ操作ガイド

FUJITSU

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収･リサイクルにお出しください。

B6FJ-5201-01

B6FJ-5201-01